「命名紙」について

■命名紙って？

生まれてきた赤ちゃんの名前を決めその名を書くためのものです。お七夜当日に赤ちゃんの名前を書いた命名紙を、神棚の下や床の間の鴨居又は赤ちゃんの枕もとに一番近い所などに取り付けます。

■命名紙に関するQ&A

Q. 赤ちゃんが生まれたときから命名紙を飾っています。もうそろそろ、外そうかと思っているのですが、はずすタイミングは決まっているのでしょうか？命名紙を貼っておく期間などがあれば教えてください。

A. 命名紙を取り付ける期間に決まりはありませんが、出生届の日か床上げを済ませた後に取り外すのが良いでしょう。子供の成長を願って、へその緒と一緒に保管してあげてください。アルバムなどに入れるのも良いでしょう。

■お七夜とは

命名式、名付け祝いなどとも言います。生まれてから七日の夜までに名付けます。両家の両親や名付け親や特に親しい方を招いて、お赤飯と尾頭つきの魚などを用意し、赤ちゃんの健やかな成長を願って命名披露の祝宴をしたりもします。

■お七夜の由来

元々の由来は昔の子は体が弱く六日までで亡くなってしまう子が多く、神の身元へすぐ戻ってしまうと解釈されていたそうです。そのため七日目になると、「この子は人間の子です」という意味を込めて七日目に名前を付けていたそうです。

■ひとくちMEMO

七日の初日は零日と数えるので、一日に生まれた子の場合八日がお七夜となる。

命名紙の書き方

「年月日生」欄には、赤ちゃんのお誕生日を書きます。

その下に生まれ年の干支を書き入れます。

赤ちゃんのお名前だけを書く時は右隣に父親のお名前と赤ちゃんのご両親との続柄を書きます。

赤ちゃんのご両親との続柄と、赤ちゃんのお名前を書きます。

名付け親がご両親でない時は、赤ちゃんのお名前の左隣に名付け親のお名前を書きます。

命名欄に赤ちゃんとの続柄と赤ちゃんのお名前を書く時は、名付け親書きの左隣に両親のお名前を書きます。